

## 西渡戸遺跡 第6地点

遺跡名	西渡戸遺跡
よみがな	にしわたどいせき
調査地点	第6地点
主な時代	旧石器時代（約 28,000～26,000 年前）
調査地	渡戸三丁目 328-1、329-1 他
調査面積	1405.95 m <sup>2</sup> のうち、約 17.4 m <sup>2</sup>
調査期間	令和4年6月6日
調査内容	<p><b>【確認された主な遺構】</b> ブロック（遺物集中地点）1ヶ所</p> <p><b>【出土した主な遺物】</b> 旧石器時代の石器（ナイフ形石器、石核、剥片など）</p> <p><b>【概要】</b></p> <p>西渡戸遺跡は、砂川堀の南側に位置する遺跡で、上沢の交差点から北に 100 mほど離れた場所にあります。遺跡のある範囲は東側と西側を小さな谷に挟まれ、尾根のような地形になっています。当遺跡の過去の調査では、旧石器時代のブロック（遺物集中地点）、縄文時代早期の土器などが見つかっています。</p> <p>今回の調査では、旧石器時代の地層である関東ローム層の中から、黒曜石製の石器が 80 点以上、3 m×3 m程度の範囲にまとまったブロックとして確認されました。見つかった石器の中には、鋭く尖った「ナイフ形石器」や、石器を作る過程でできる微小な欠片「剥片」などが含まれていました。今から 2 万年以上も昔に、この場所で石器づくりを行っていた人がいたようです。</p>



石器がまとまって出土した「ブロック」の様子  
（柱状に残る部分が石器の出土した場所です）



石器が出土した様子 1



石器が出土した様子 2



ブロックから出土した「ナイフ形石器」